

第5次基本構想

分野別懇談会

次 第 -

*あいさつ

基本構想について

- 1 策定の趣旨
- 2 構成と期間
- 3 これまでの歩み

第5次基本構想の策定にあたって

- 1 策定体制とスケジュール
 - 2 第12回市民意識調査結果
 - 3 第4次基本構想の取組み概要と課題
- <参考>人口の推移、年齢構成の推計

意見交換・質疑応答



平成22年5月
富士見市

基本構想について

1 策定の趣旨

基本構想とは

市のまちづくりの長期的な展望を示し、目指すべき将来像の実現に向け、福祉や教育、基盤整備などの様々な分野に関する目標を定めた、いわば市の設計図であり、市民のみなさん全てに関わるものです。

現在の第4次基本構想（計画期間10年）は平成12年度に策定したもので、平成22年度で終了します。

策定の理由

市民のみなさんにとって、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、今後見込まれる少子高齢化の進行、生活環境や社会状況の変化など、様々な課題への対応が必要となります。

このため、平成23年度からの新たな長期展望となる第5次基本構想を策定するものです。

策定の視点

市民のみなさんと行政が情報を共有し、ともに力を合わせ、魅力があり希望を持てる元気な富士見市づくりを進めるため、次の視点で策定に取り組んでいます。

- ▶市民と共に考えつくり上げる計画の策定
- ▶社会状況の変化に迅速かつ柔軟に対応できる計画の策定
- ▶実現性・実効性の高い計画の策定
- ▶施策と行政組織、市民との関係性が明確な計画の策定

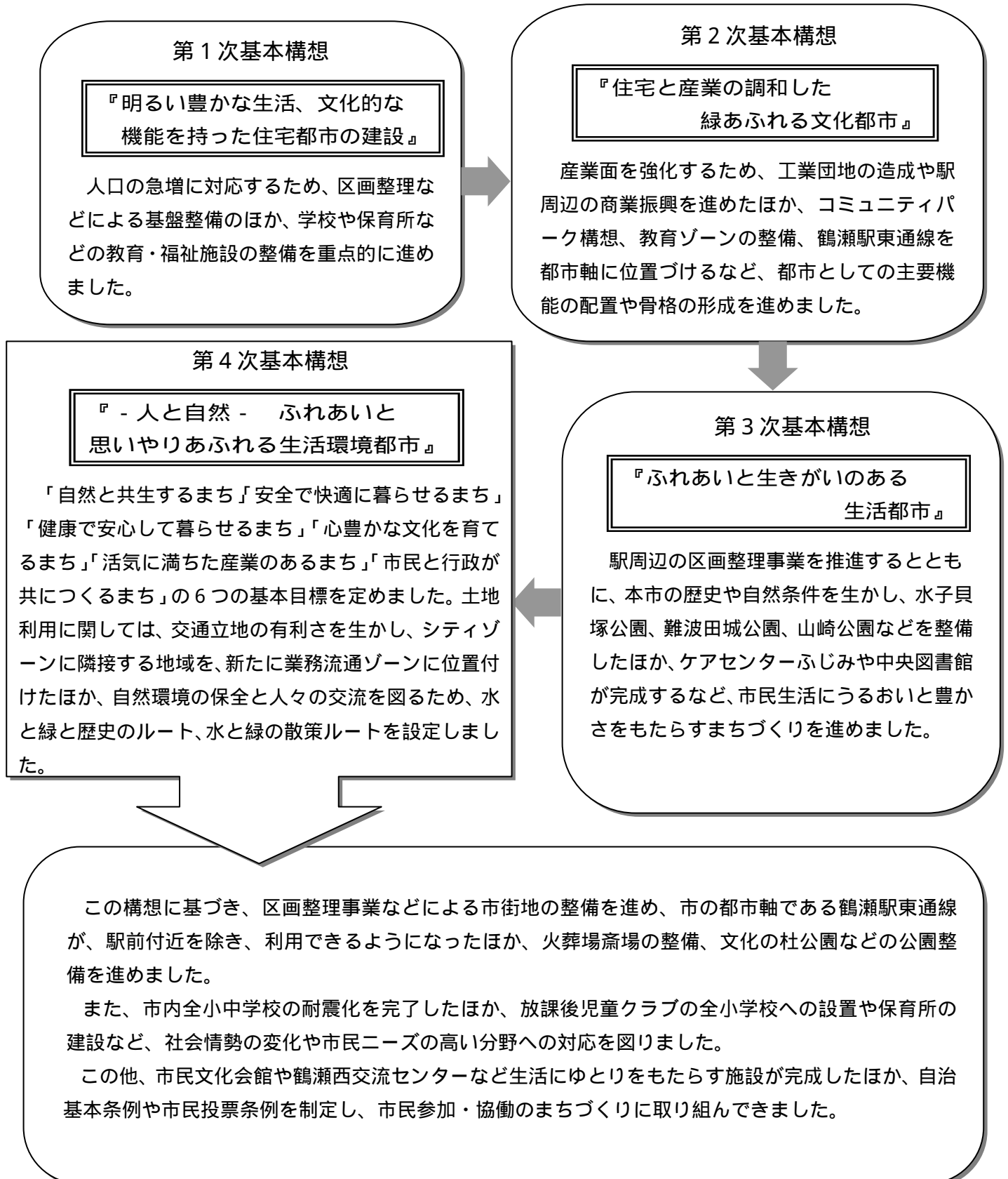
2 構成と期間

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
基本構想 将来都市像実現のための施策の大綱を定めたもの	← 10年間 →									
基本計画 構想で定めたまちづくりの目標を実現するため、施策の基本方針等を体系的にしたもの	前期5ヵ年					中期5ヵ年 見直年次			後期4ヵ年 見直年次	
実施計画 基本計画で定めた個々の施策を財政状況や社会情勢を考慮して実施するもの	3ヵ年		3ヵ年			毎年 点検・修正				

3 これまでの歩み

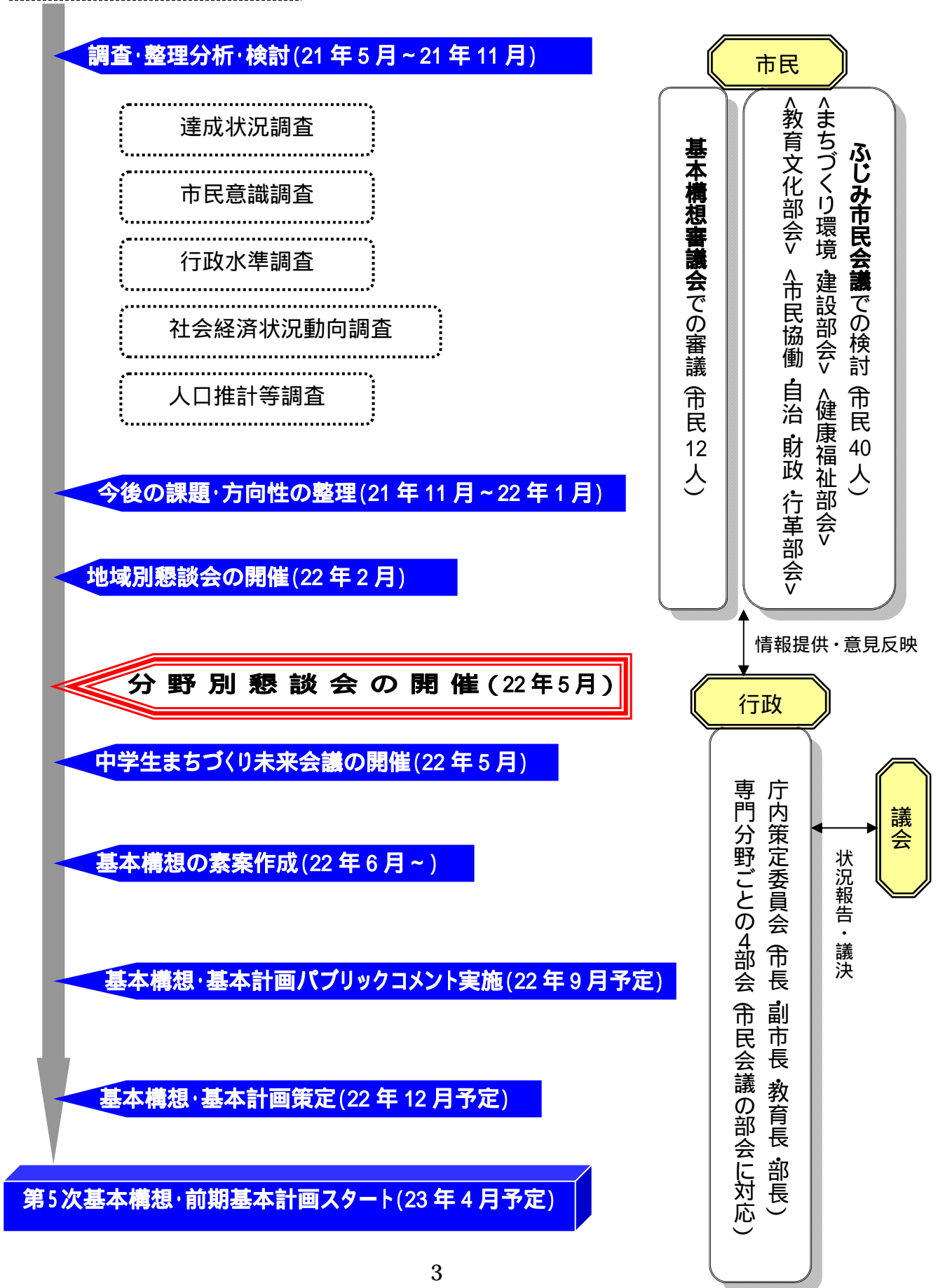
本市は、昭和47年の市制施行以来、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに応えるため、4度にわたって基本構想を定め、計画的にまちづくりを推進してきました。

< 将来都市像の変遷 >



第5次基本構想の策定にあたって

1 策定体制とスケジュール

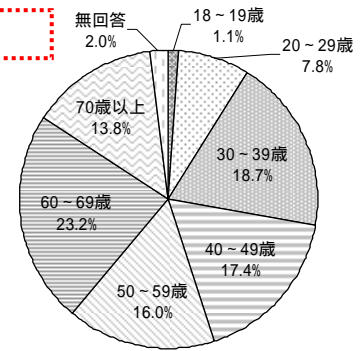


2 第12回市民意識調査結果

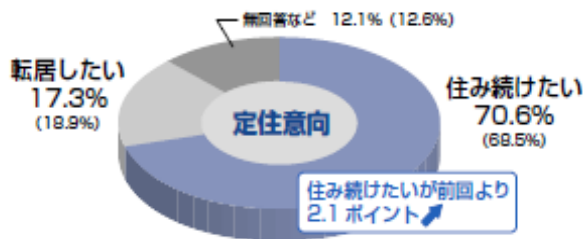
住みごころ 定住意向

- ・対象者 市内に在住する満18歳以上の男女3,000人
- ・調査方法 アンケート調査票を郵送で配布・回収
- ・調査期間 平成21年7月17日～7月31日
- ・回収結果 回収数：1,377票 回収率：45.9%
- ・回答者の性別 男性40.2% 女性57.7% 無回答2.1%

・回答者の年齢



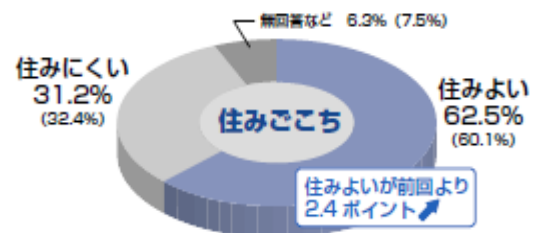
今後も住み続けたい人は約7割で前回調査(平成18年)よりも高くなっています。



転居したい理由

1位	買い物に不便	(3位)
2位	医療体制が充実していない	(2位)
3位	通勤・通学に不便	(10位)

約6割の人が住み続けたいと感じています。



住みよい理由

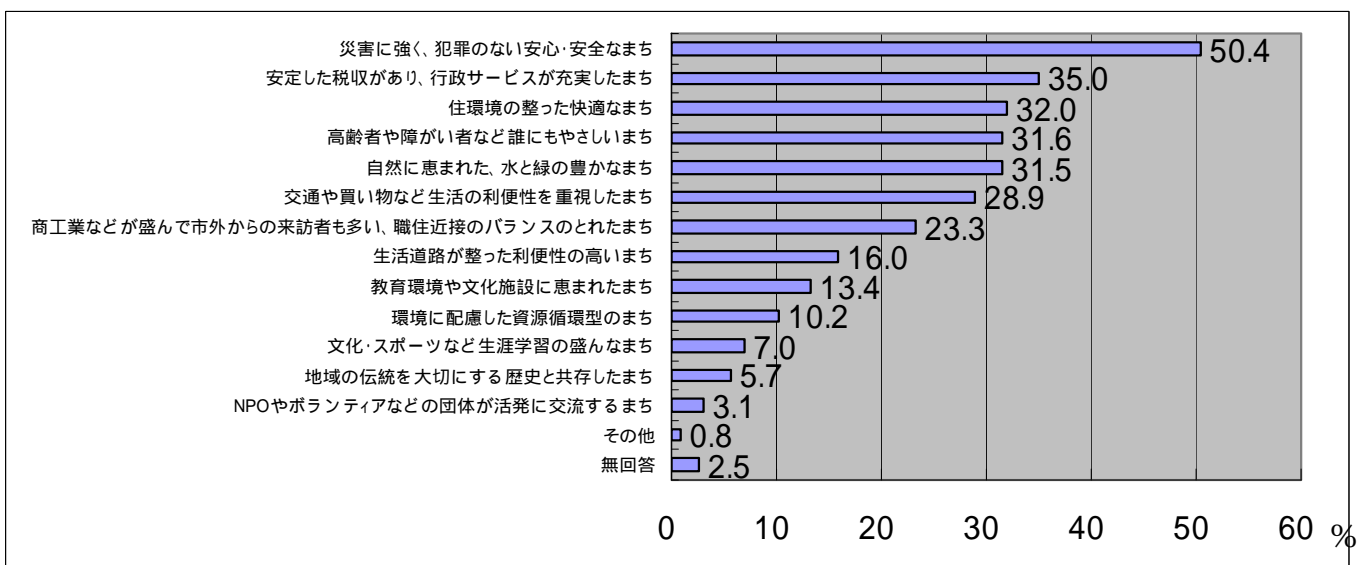
1位	まわりに緑や公園が多い	(3位)
2位	通勤・通学に便利である	(2位)
3位	買い物に便利である	(1位)

住みにくい理由

1位	道路や下水道などが整備されていない	(1位)
2位	買い物に不便である	(4位)
3位	保健・医療体制が不足している	(2位)

()は前回調査(平成18年)

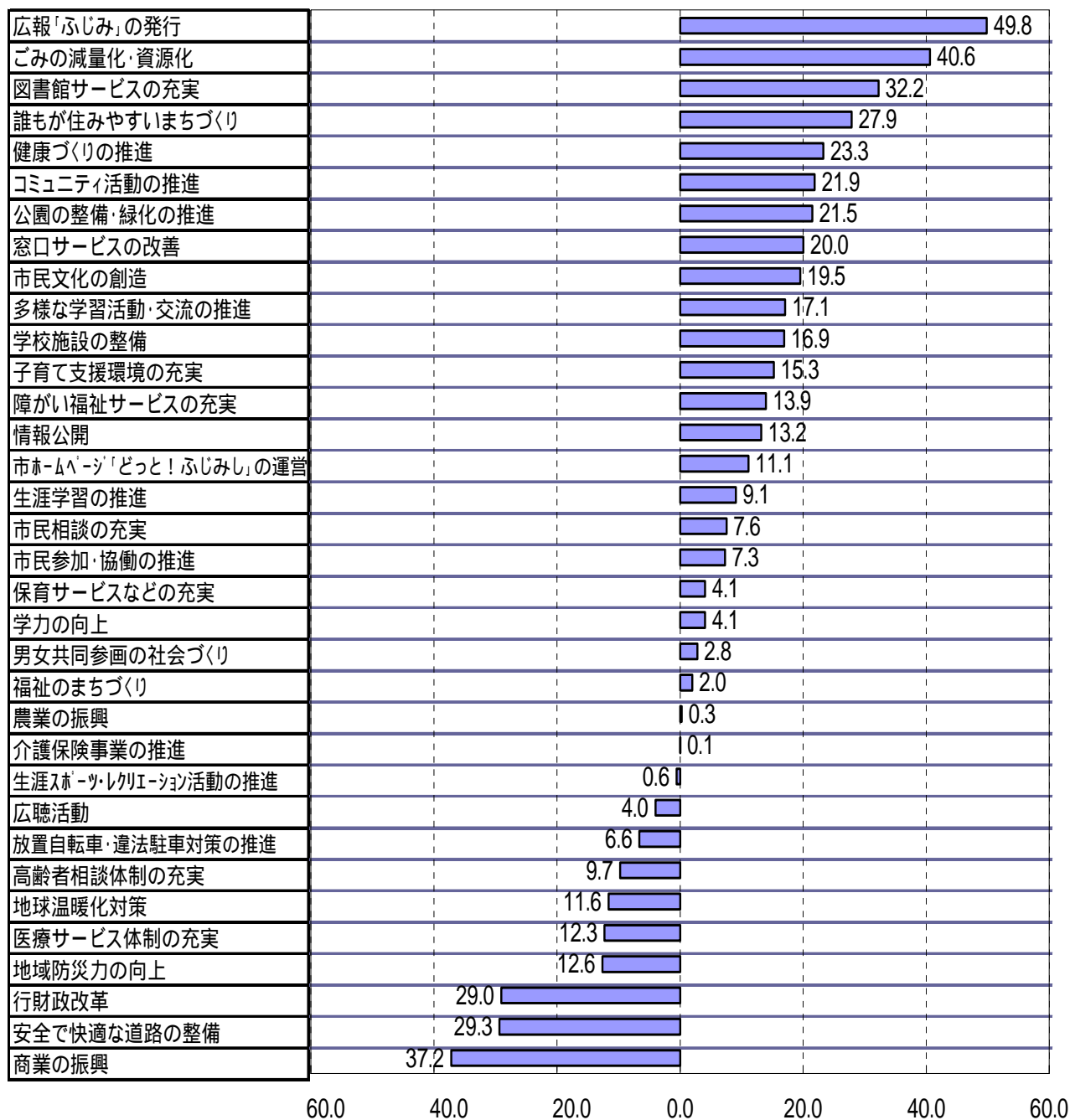
将来像



「災害に強く、犯罪のない安心・安全なまち」50.4%が最も多く、どの年齢層でも1位となっています。

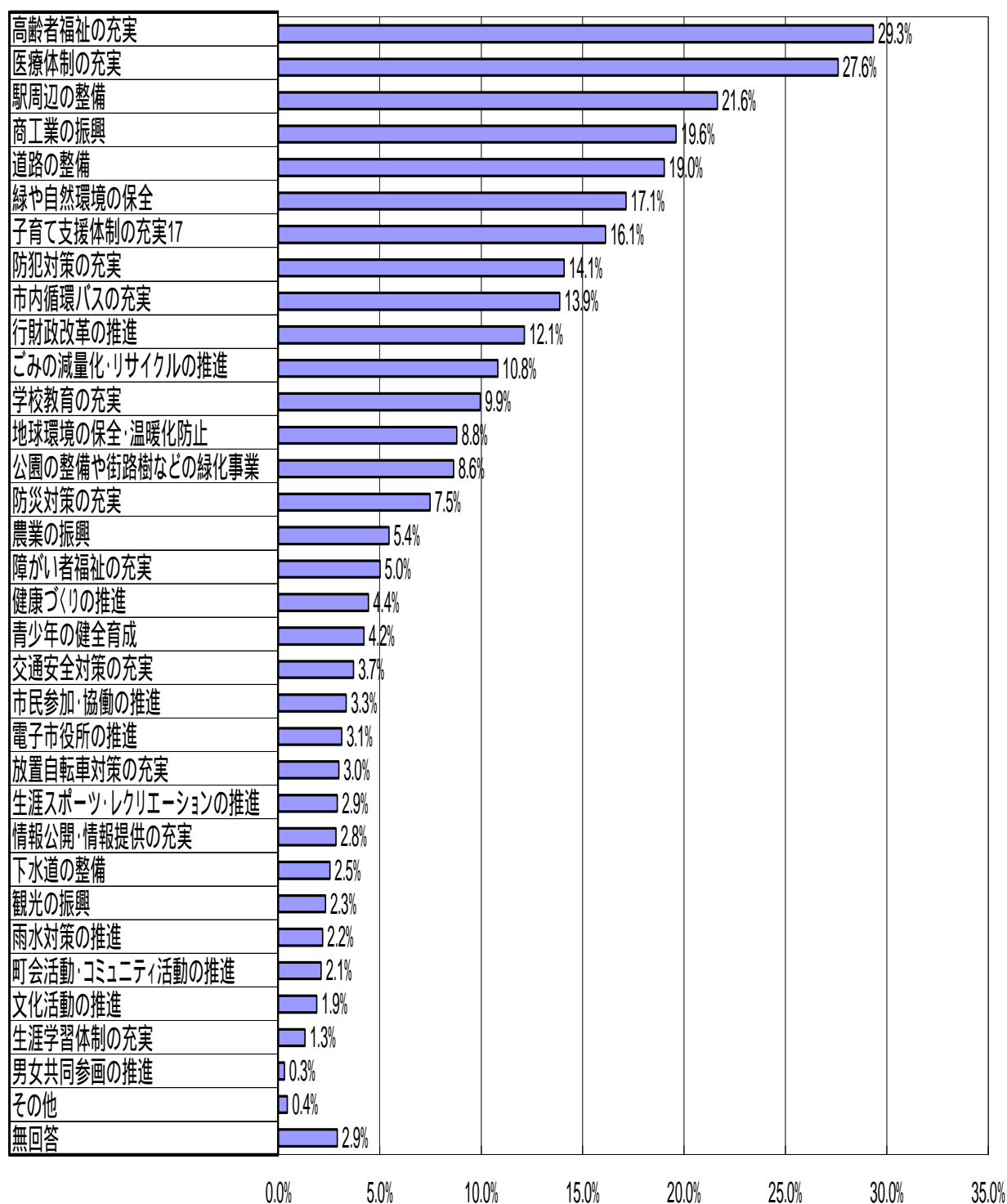
各施策の満足感

主な施策に対する満足度や不満度を聞いたところ、「広報ふじみの発行」「ごみの減量化・資源化」「図書館サービスの充実」の満足感（「満足度」から「不満度」を差引いた値）が高くなっている一方で、都市づくりや産業分野などの満足感が低くなっています。



今後のまちづくりの施策

今後、特に力を入れるべき施策について聞いたところ、「高齢者福祉の充実」が29.3%で最も高く、次に「医療体制の充実」27.6%、「駅周辺の整備」21.6%、「商工業の振興」19.6%の順になっています。



3 第4次基本構想の取組みの概要と課題

教育文化分野

(学校教育、生涯学習、文化、スポーツ、国際、人権など)

数値でみる推移

【学校】

小中学校耐震化整備状況

校舎 平成13年度 16.7% (2校/12校) 平成20年度 100%

体育館 平成13年度 0.0% (0校/9校) 平成22年度 100% (見込)

【生涯学習】

公民館利用者数 (鶴瀬西公民館分除く)

平成13年度 201,347人 平成20年度 211,370人

交流センター等利用者数(ふじみ野、鶴瀬西交流センター、針ヶ谷、みずほ台コミセンの合計)

平成18年度 279,368人 平成20年度 283,149人

○スポーツ施設利用者数

市民体育館 平成13年度 205,287人 平成20年度 178,305人

市民プール 60,835人 60,824人

主な取組み実績

【学校】

ふれあい相談員(*1)の配置(平成19年度・各中学校2名)

すこやか支援員(*2)の配置(平成20年度・特別支援学校及び特別支援学級を有する小中学校を中心に配置)

小中学校校舎及び体育館耐震補強(平成22年度で全校完了予定)

ふじみ野小増築(第1期増築・平成14年度、第2期増築・平成16年度、第3期増築・平成21年度)

上沢小と鶴瀬西小の統合、つるせ台小学校の建設(開校:平成18年4月 校舎落成:平成20年12月)

○学校応援団(*3)の編成(平成21年度 全小学校)

*1 いじめや不登校など生徒の悩みを受けとめ相談に応じる相談員。

*2 特別支援学校、特別支援学級、通常学級の肢体不自由、発達障がいなどの児童生徒に対して学校生活上の介助や学習支援を行う支援員。

*3 学校での教育活動を支援する保護者、地域の方によるボランティア(学校支援ボランティア)の活動組織。主な活動は、本の読み聞かせ、草むしりや花壇の整備、図書整理、登下校の安全指導など。

【生涯学習】

市民文化会館キラリふじみ開館(平成14年11月)

ふじみ野交流センター開館(平成14年6月)

鶴瀬西交流センター開館(平成17年11月)

市民人材バンクの利用開始(平成15年度)

地域子ども教室の実施(平成22年度～全小学校区)

第2運動公園の開園(平成14年10月)

主な課題

【学校】

「教育に関する3つの達成目標」(学力、規律ある態度、体力)の実現を目指した、児童・生徒の個性を尊重した教育内容の充実
地域住民との連携による地域に開かれた学校づくりの推進
発達障がいに対する理解と適切な対応方策の検討などによる特別支援教育の充実
学校施設の計画的な環境整備

【生涯学習・文化】

生涯学習施設間の連携推進と市民との協働事業による学習内容や機会の充実
生涯学習に参加した市民が「まちづくりを担う人材」となる仕組みづくり
家庭、学校、地域、団体との連携による青少年の健全育成
市民文化会館を拠点とした市民文化活動の推進と各施設との連携強化
文化財を活かしたイベントや市民協働事業の拡大等により観光資源としての魅力の付加
と市内外へ積極的な情報発信

【国際・人権】

国籍や民族の異なる市民が互いの文化的違いを認め合いながら共に生きる「多文化共生社会」の視点から、意識啓発や各種施策の推進
人権担当課と関係各課の連携による総合的な推進体制を基に教育・啓発の推進
保護者や学校関係者、地域住民等の連携による学校におけるいじめ対策

健康福祉分野
(医療、健康、子育て、福祉など)

数値でみる推移

【健康づくり】

がん検診	(13年度 受診者数)	(20年度 受診者数)
胃がん	706人	618人
肺がん	12,976人	10,725人
大腸がん	11,858人	9,558人
子宮がん	1,763人	2,795人
乳がん	1,603人	2,390人

【子育て】

保育所数と定員	8施設 790人(13年度)	12施設 1095人(21年度)
放課後児童クラブ数と入所者数	10施設 474人	11施設 752人

【高齢者福祉】

高齢者のための施設	特養 1ヶ所(12年度)	特養 4ヶ所 介護老人保健施設 2ヶ所 有料老人ホーム 3ヶ所 グループホーム 1ヶ所 (21年度)
-----------	--------------	--

【地域福祉】

社会福祉協議会登録ボランティア数 27団体 387人 46団体 762人

主な取組み実績

【医療・保健】

東入間医師会小児時間外救急診療所にて平日夜間の小児救急診療の開始(17年4月)
 新型インフルエンザ対策の実施(21年度)
 国民健康保険の40歳以上の加入者に対する特定健診及び特定保健指導の開始(20年度)

【子育て】

放課後児童クラブ整備(全11小学校区に整備 うち4クラブは第2クラブ整備)
 保育所整備(14年4月ふじみ野保育園開園)
 民間保育所建設に対する助成(15年度けやき保育園増築、17年度西みずほ台保育園建設、18年度勝瀬こぼと保育園建設、22年度民間保育園2園新設工事助成)
 関沢児童館内にファミリーサポートセンター開設(14年7月)
 子育て支援センター開設(15年10月) 鶴瀬西交流センター内に移転(18年4月)
 こども医療費の拡大(中学校卒業まで入通院費を助成 22年10月~)

【高齢者福祉】

デイサービスセンター南畑(13年5月) みずほ台の開設(15年4月)
 民間老人福祉施設に対する助成(18年度)
 介護予防の地域拠点施設「高齢者いきいきふれあいセンター」の開設(鶴瀬西)

【障がい者福祉】

ゆいの里通所施設建設費に対する助成(18年度)

オストメイト(人工肛門等の造設者)対応の多目的トイレを市役所など4カ所整備(20年度)
就学前障害児通園施設みずほ学園の移転・新築(14年4月)

【地域福祉】

市民福祉活動センター「パレット」開館(児童活動センター併設。16年7月)

地域福祉計画の策定(20年度)

公共施設46箇所に自動対外式除細動器(AED)の設置(18~20年度)

主な課題

【医療・保健】

市民や地域との協働による健康づくりや介護予防などの取組みの推進

がん検診や、特定健診及び特定保健指導などの受診率向上

新型インフルエンザなどの感染症対策の推進

医師会及び近隣自治体と連携・協力し、小児救急を含む休日・夜間の救急医療体制の充実と市民に対する情報提供の充実

特定健診の受診率向上による健康長寿の推進と医療費抑制

【子育て】

保育所や放課後児童クラブにおける待機児童の解消や保育サービスの充実

妊娠から出産、子育てへと継続した支援体制とサービスの充実

児童虐待の防止やひとり親家庭の支援のため相談体制やサービスの充実

【高齢者福祉】

市民との協働による健康づくりや介護予防の取組みの推進

社会参加や生きがいづくりの推進

地域包括支援センターの利用促進や地域・行政などによる「あんしんネットワーク」の充実
生活支援サービスの推進

【障がい者福祉】

地域生活への移行支援、総合的な就労支援、社会参加支援等の継続と相談体制の充実

療育相談をはじめとする家庭児童相談室での対応の充実などによるADHD等の発達障害に対する支援方策の検討

【地域福祉】

福祉のまちづくりに地域全体で取り組むための推進体制の整備と市民に対する情報提供や意識啓発の推進

ユニバーサルデザインの理念を踏まえ、駅周辺道路、歩道、公共施設等のバリアフリー化

まちづくり環境建設分野
(土地利用、環境、公園緑地、道路、交通、防災防犯、産業等など)

数値でみる推移

【公園緑地】

公園面積	平成 13 年度 22.99ha	平成 21 年度末 37.43ha
公園箇所数	33 箇所	43 箇所
市民緑地	1.29ha	1.10ha
緑地及び緑の散歩道	3.51ha	3.60ha
緑地保全基金残高	50,085 千円	249,373 千円

【環境】

一般廃棄物処理量	31,348 トン	平成 20 年度 29,110 トン
----------	-----------	--------------------

【道路・交通】

歩道設置率	平成 13 年度 9.2%	平成 20 年度 9.55%
市道舗装率	73.7%	75.7%
交通事故発生件数	502 件	390 件
循環バス利用者数	55,256 人	153,759 人
うち一般乗車	32,020 人	85,587 人
うち特別乗車	23,236 人	68,172 人
○自転車駐車場収容台数	5,762 台	平成 21 年度 6,232 台
○自転車駐車場箇所数	9 箇所	11 箇所

【防犯・防災】

○自主防災組織設置数	13 組織	平成 21 年度末 27 組織
○防犯灯整備数	平成 14 年度末 約 5,300 基	平成 20 年度末 約 5,800 基

【下水道】

下水道普及率	平成 13 年度末 87.9%	平成 21 年度末 93.0%
--------	-----------------	-----------------

【農業】

販売農家数	636 戸	601 戸
販売農家の経営耕地面積	584ha	563ha (平成 12 平成 17 推移、農業センサス)

【商工業】

商店数	715 戸	598 戸 (平成 14 平成 19 推移、商業統計)
うち卸売	69 店	62 店
うち小売	646 店	536 店
年間商品販売額	833 億 6,112 万円	682 億 4,774 万円
うち卸売	170 億円	123 億円
うち小売	663 億円	560 億円
売り場面積	62,050 m ²	52,443 m ²
製造業の事業所数	76	70 (平成 14 平成 19 推移、工業統計)
常住地における人口(夜間人口)と昼間人口の比率	70.4% (県内で最も低い) 就業者のうち約 37,400 人が他市区町村へ流出。流入人口は約 10,200 人	

主な取組み実績

【都市計画】

旧暫定逆線引き地区（水子・諏訪）の市街化区域再編入への取組み

鶴瀬駅西口区画整理事業（4年度～22.5ha 使用収益開始率：71.7%＜21年度末＞）

○鶴瀬駅東口区画整理事業（12年度～4.9ha 使用収益開始率：8.5%＜21年度末＞）

○勝瀬原口区画整理事業の推進（昭和60年度～22年度完了予定 72.6ha）

鶴瀬第2団地建替え関連事業の実施（道路・下水道・公園などの整備）

密集市街地整備事業の実施（鶴瀬東2丁目、道路、地域集会所、コミュニティ賃貸住宅等の整備）

地区計画の条例化（19年4月鶴瀬駅東口 21年6月鶴瀬駅西口、勝瀬原、針ヶ谷、つるせ台）

【住宅】

市営住宅の設置（21年度40戸）

【公園緑地】

公園整備（文化の杜公園、びん沼自然公園、第2運動公園、勝瀬原記念公園等）

緑地保全基金の設置（13年4月設置 平成15年：諏訪の森 2,610.0㎡ 平成17年：貝戸の森 1,417.3㎡ 平成21年：渡戸どんぐり公園 70.2㎡取得）

【環境】

環境基本条例の制定（14年4月施行） 環境基本計画の策定（15年3月策定）

富士見市をきれいにする条例の制定（19年10月施行）

天然ガス車の導入（清掃作業車など） 太陽光発電の導入（市民文化会館など4公共施設に設置）

資源プラスチックの分別収集の開始（13年11月から市内一部開始、14年4月から市内全域）

【道路・交通】

幹線道路の整備（鶴瀬駅東通線、鶴瀬駅西通線、南畑地区、勝瀬地区等）

みずほ台駅東西口駅前広場に自動車駐車場の整備（東口14年度、西口15年度）

ふじみ野駅西口自転車駐車場の整備（15年度）

NPOによるふじみ野駅西口自転車駐車場の整備（20年度）

市内3駅のバリアフリー化（エレベーター、身体障害者用トイレの整備）に対する補助

【防犯・防災】

地域防災計画の策定（17年度）

新河岸川河川防災ステーションの整備（大字水子 18年度）

地域防犯パトロールへの支援（組織率：100% 56町会 県内唯一）

市民青色パトロール隊の発足（19年度）

【衛生】

火葬場斎場の整備（20年6月開設）

【農業】

ふるさと農道整備（16～19年度）

県営ほ場（富士見第一地区）の整備

【商工業】

商業活性化ビジョンの策定（15年度）

商店会や商業活性化研究会等への支援（継続実施）

【その他】

南畑ふれあいプラザの開設（15年7月）

主な課題

【土地利用】

自然環境や優良農地の保全

地域特性を活かした秩序ある土地利用の推進

自然環境に配慮しながら定住化や活力あるまちづくりに向けた、計画的な土地利用の推進

【公園緑地】

自然環境を保全するため、基金の活用等による優良な緑地の保全策

新市街地の整備などと併せた計画的な公園整備についての検討

水子貝塚公園や難波田城公園など特色ある公園の活用

【環境】

地球温暖化対策及び資源循環型社会の確立を目指して、市民、事業者及び行政の連携を強化し、さらなるごみの減量化・資源化及び省エネルギー化の推進

生活環境の保全を図るため、「富士見市をきれいにする条例」に基づく取組みなど、市民との協働による取組みの推進

【都市計画】

鶴瀬駅東口及び西口土地区画整理事業の推進

既成市街地における災害時の安全性確保のための方策の検討

まちの活性化を図るため、旧暫定逆線地区などの新市街地の整備の推進

【道路・交通】

総合的な道路・交通体系のもとに、バリアフリー化などに配慮しながら、計画的な道路・歩道などの整備・維持補修の推進

啓発や指導の強化などによる駅周辺における放置自転車や違法駐車解消

【防災・防犯】

自主防災組織及び自主防犯組織の育成支援や地域住民組織との連携などによる地域防災・防犯体制の充実

ゲリラ豪雨など都市型水害への対応

【農業】

関係者の連携による地産地消の拡大推進や市内農業に関する情報提供の充実

安定した農業経営基盤を確立するため、優良農地の保全と基盤整備完了農地の運用

農業後継者の育成、農業の維持継続に対する支援策、農地利用者の確保・拡大

【商工業】

商工業事業者や商店会等に対する各種支援などによる地域の産業振興の推進

地域の活性化や雇用の創出などを目指し、商業施設等の誘致に向けた検討

地域の活性化に向けて、農商工業が連携し、市外に売り出せるブランド力の確立と販路拡大の検討

【観光】

既存の観光資源を活用し、歴史文化財を活かした取組みの推進

観光資源の紹介やイベント開催などの情報提供の推進

市民協働・自治・財政・行革分野
(市民参加、協働、コミュニティ、男女共同参画、行財政改革など)

数値でみる推移

地方債現在高

13年度末 25,760,545 千円 20年度末 26,401,532 千円

職員数

13年4月1日現在 746人 21年4月1日現在 613人

主な取組み実績

【自治・コミュニティ】

自治基本条例の制定(16年度)

市民投票条例の制定(14年度)

みずほ台コミュニティセンター改修(14年度)、針ヶ谷コミュニティセンター改修(15年度)

水谷東1丁目集会所用地取得(18年度)、水谷東3丁目集会所の増築(19年度)、水谷第1集会所の大規模改修(21年度)

市職員による市政に関する「出前講座」を開始(20年度)

【男女共同参画】

男女共同参画推進条例の制定(20年度)

【行革・市民サービス】

第4次行財政改革大綱・行動計画を策定し(16年度)、行財政改革を計画的に推進

民間活力導入に関するガイドライン・行動計画を策定し(18年度)、指定管理者制度を導入(既導入施設:キラリふじみ、放課後児童クラブ11か所、ふじみ野保育園、ガーデンビーチ、針ヶ谷コミセン、老人福祉センター、福祉活動センター、自転車駐車場9カ所、図書館西分館、中央図書館・図書館ふじみ野分館(22年4月導入予定))

事業仕分けの実施(21年度)

定員適正化計画を策定し(17年度、20年度)、計画的に職員数を減員

ふじみ野駅にふじみ野出張所開設(18年7月)

市役所本庁舎の耐震化とバリアフリー化(20年度)

主な課題

【自治・コミュニティ】

気軽にまちづくり活動に参加できる場の提供

ホームページの見直しなどによる情報提供の充実

市民の意見を幅広く聴取する手法の検討など広聴機能の強化

市職員の市民参加・協働に関する意識啓発やコーディネート能力の向上

災害時におけるコミュニティの重要性などに関する啓発

町会やコミュニティ団体の活動に対する支援とネットワーク化の推進

集会所、交流センター、公民館などの活用と施設間連携

市立集会所の計画的な修繕と利用率向上策の検討

地域立集会所の修繕等に対する支援のあり方の検討

【男女共同参画】

子育て時などの効果的な意識啓発手法の検討・実施(父親の子育て参加の推進など)
男女共同参画に関する活動支援

【行革・市民サービス】

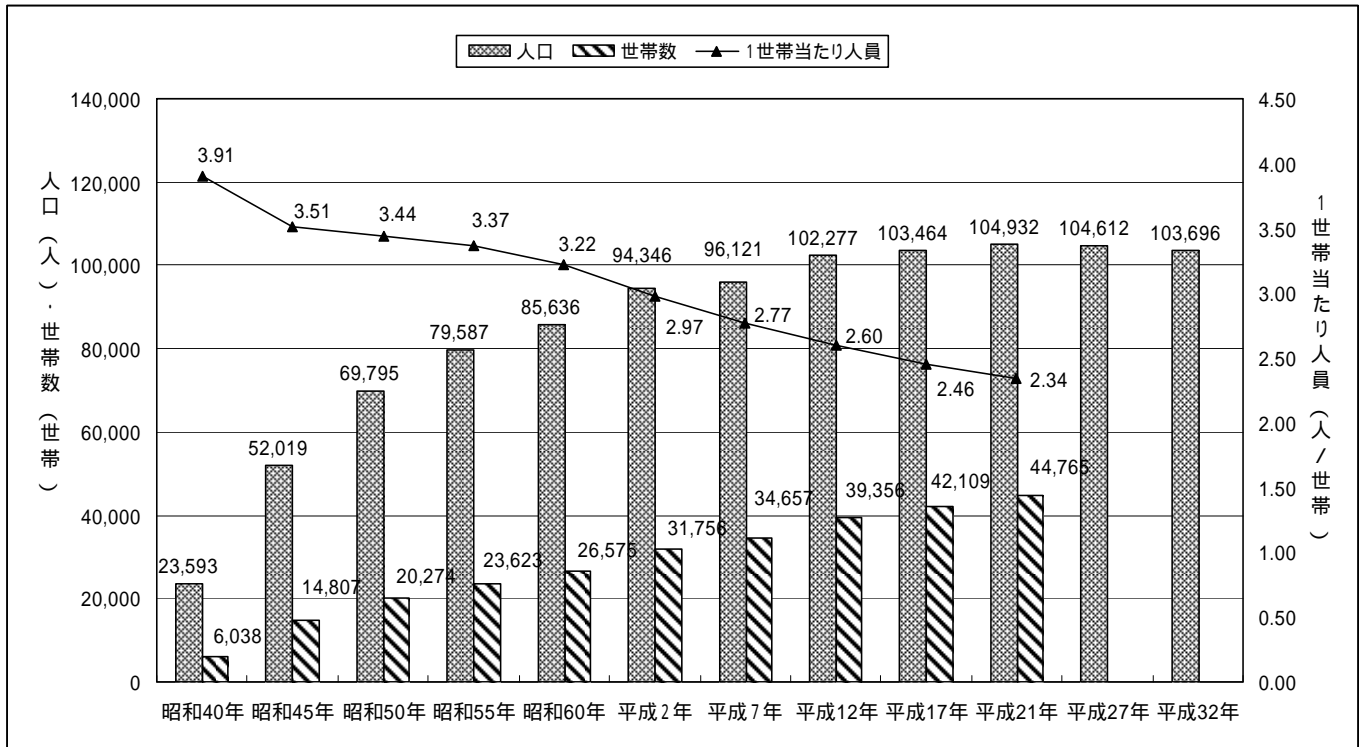
総合計画の推進に必要な財源確保と行財政改革の推進
事務事業の見直しなどによる効率的な行政運営
民間活力導入の推進
市税、市税以外の負担金、使用料などの収納率の向上と新たな歳入確保策の検討・推進
職員定数の適正化と、職員の政策形成能力等の向上
行財政に関するわかりやすい情報提供
行政評価制度の導入
市有施設の適正配置と計画的な修繕
窓口サービス向上のための方策の検討

【財政】

中長期財政計画の策定と将来目標の設定、計画的な行政運営の推進
市民サービスの向上につながる権限移譲の推進
市税や負担金、使用料などの収納率向上
企業誘致など新たな歳入確保策の検討・推進

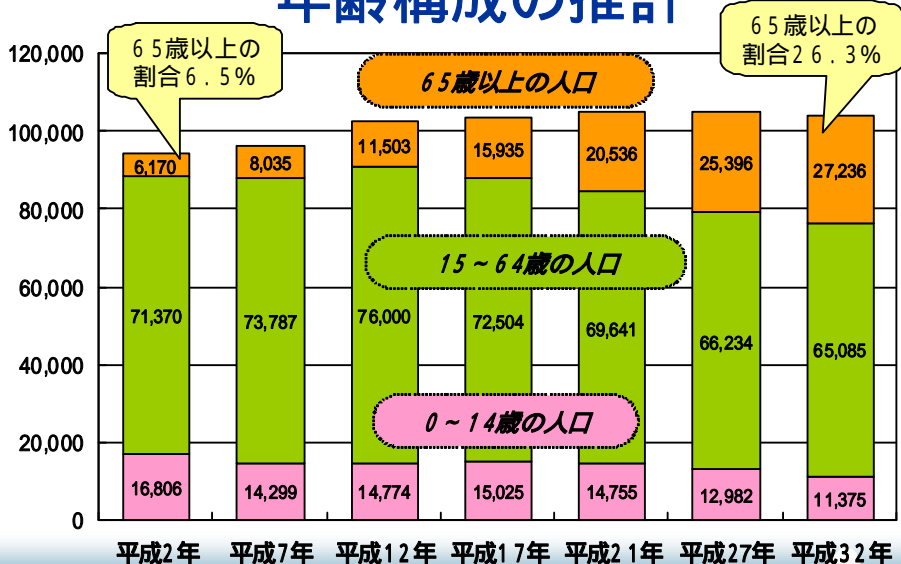
< 参 考 >

総人口・世帯数



平成 21 年以前は実績値（各年 10 月 1 日現在）。平成 27 年以降は過去の人口の推移に基づく推計。今後、現推計の社会増を上回る特殊要因（住宅開発など）を加味し、修正

年齢構成の推計



10年後には4人に1人が65歳以上に

平成 3 2 年には 0 ～ 1 4 歳の人口が全体の 1 0 % まで低下し、6 5 歳以上の人口は 2 5 % を超えるの見込まれます。

